

【ファシリテーター養成研修 専門研修課程Ⅰ編】

主催：徳島県介護支援専門員協会 講師派遣養成委員会養成班

日時：令和6年12月14日（土）13時から16時半

受講者数：15名

開会挨拶：中東副理事

閉会挨拶：位頭副理事

講師：前半 荻田靖子講師 後半 大森匡美講師

【研修内容】

専門研修課程Ⅰの方の習得目標を押さえたうえで、ファシリテーターの求められないようにについて具体的にワークを交えながら研修を行った。

前半では実務研修ファシリテーター養成講座で習ったケアマネジメントプロセスのことを振り返った。そのうえでアセスメントについて改めて学びなおす講義をすすめた。その後演習では、インテークとアセスメントの違いについて考察し、事例を使いながら気づきのファシリテートについてふれていった。その中の演習では不足の情報は何かという基本をしながら、ではそのグループワークをしている状況にどうファシリテーターとして介入するのかという演習を行った。

後半では課題整理総括表について学んだ。課題整理総括表とは何か、何を記すものか、書き方というところをおさらい兼ねながらワークを行った。その後事前課題にもなっていた、事例の課題整理総括表をもし自分が作るとしたらどう作成したのかの違いについて根拠を述べながらのグループワークをすすめた。またそのグループワークにおいても別グループがファシリテーター役として同介入するのかコーチング技法を活用してファシリテートできるかの演習を行った。

それぞれ自分たちがグループワークを行ってどうであったかの、グループワークの進め方内容について、またファシリテーター役の場合にどう介入したのかについて最後は振り返った。

【考察】

ファシリテーターをした方が半数いた今回の研修であった。しかし実際にしたことがある人達は、改めて言語化することは、何にポイントを置くべきかの振り返りにもなった。またファシリテーターしたことがない方たちは、言語化することの難しさはもちろんであったが、介入タイミングやどのような声掛けで介入するのがいいのかなどの難しさを体験するとともに、見て質問する機会ともなったため、ファシリテーターという役どころを身近に感じれる機会にもなったのではないかと考える。

実務研修ファシリテーター養成からの流れとなっている専門Ⅰ研修。次回、専門Ⅱ、主任とさらに重ねていく流れの研修となっている為、継続して受講している方はより積み重ねを実感でき、整理できるものとなった。

